

ありがとう

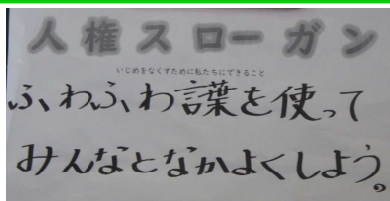
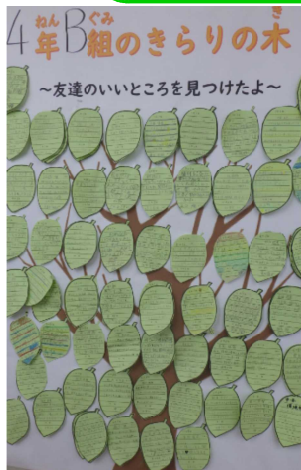
清音小学校だより



No.6

令和7年6月25日
校長 藤本千登世

「いじめについて考える週間」(本校:6月16日~20日)



県では、毎年6月第1月曜日からの1週間で「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止等の取組を充実させることとしています。本校では、道徳科や学級活動でいじめについて話し合い、学級の人権スローガンづくり等に取り組みました。また、保護者の皆様には、「きらりの木」(いいところ見つけ)の取組にご協力いただきありがとうございました。

朝礼では、「いじめの矢」という話をしました。いじめをされると心に「いじめの矢」(暴力・言葉の暴力・いやがらせ・からかい・仲間外れ・見てるだけ)がささることと、矢を抜くための方法について具体的な話をした後、次のような話をしました。

「いじめの矢」を取り除いたあとは、どうなっていますか？穴が残っていますね。この傷跡はなかなか消えないのです。一生、忘れることはできないかもしれません。だから、「いじめはぜったいに許されない」のです。校長先生は清音小の子ども達、1人残らず全員にとって笑顔あふれる楽しい学校にしたいと思っています。先生方はみんな、いじめを絶対に許しません。

今、みなさんはいじめなんてしていないよと思っているかもしれませんが、自分はちょっとした遊びや悪ふざけのつもりでも、相手が辛い気持ちや嫌な気持ちになっていたら「いじめ」になります。相手がどんな気持ちか考えられる人になってほしいと思います。全校みんなで

「いじめゼロ宣言」に、レッツトライ！清音！



矢の刺さった心

水泳学習が始まりました！

機械の不具合によりプール開きが1週間伸びてしまいましたが、6月20日のプール開きを皮切りに、待ちに待った水泳・水遊びの学習が始まりました。水泳は全身を使う子どもたちも大好きなスポーツです。しかし、命の危険があるスポーツでもあります。3年以上の学年は、着衣泳にも取り組みます。一人一人めあてをもって、水と仲良くなったり、自分の成長を感じられたりする学習になってほしいと思います。



全学年によるプール掃除



職員の救急救命法研修



じゃんけん列車